同友会三つの目的

「よい会社、よい経営者、よい経営環境をめざす」

①同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強靱な経営体質をつくることをめざします。

おきなわ同友会しんぶん

ニライ みらい

2019年（令和元年）7月号

No. 376

発行：沖縄県中小企業家同友会
編集：広報委員会

〒901-0152
沖縄県那覇市字小禄1831番地1　沖縄産業支援センター603号
☎098-859-6205㈹　FAX.098-859-6208
http://www.okinawa.doyu.jp
E-mail:doyu@okinawa.doyu.jp

21世紀に輝く No.182

若者が活躍できる沖縄を目指して

『会社の発展　社員の幸せ』

沖縄設計サービス㈱　代表取締役　當野（とおの） 正樹（まさき） 氏

若手経営者として活躍されている、若手経営者部会『うりずん』部長の當野正樹さん。

お父様が創業した沖縄設計サービスは一九七六年創業で今年度は四三周年を迎えています。現在、代表取締役である當野さんは、一九八二年生まれの三六歳。会社より若い社長さんです。沖縄設計サービスという社名で、設計会社と間違われることが多いそうですが、会社の業務内容は、設計・施工業務に付随するサービスを提供しています。創業時は、アナログ時代であり、図面の青焼き、図面や書類の製本、トレース（製作された元図をなぞって写し取る）等が主な業務内容でした。時代の変化、お客様のニーズにより、工事現場事務所に必要なオフィス家具・家電やコピー機、PCなどOA機器のレンタル、現場に必要な事務用品の配達販売などの事業を展開されています。

現在のデジタル時代を迎え業態は変化し、大型プリンター、短納期に対応できるよう毎分百ページの高生産性、高画質のオンデマンド機を二台の導入。また最近では、ドローン機二台を保有し、ICT（情報通信技術）施工の起工測量や3DCAD（三次元図面）のデータ作成、工事の進行状況を定期的に空撮等も行っております。

五名兄妹の末っ子次男として誕生した當野さんは、情報機器に興味を持ち、福岡の電子系専門学校に進学されました。卒業後、福岡の同業他社で三年間修業します。その後沖縄に帰り三年間、別会社でPCサポートの経験を経て、沖縄設計サービスに社員として入社されます。入社四年目に継承の話を受け、社長室室長（三年）取締役 副社長（二年）の準備期間を経て、四十周年の節目である、平成二十八年に代表取締役に就任し、創業者（前代表取締役 会長）と一年半の併走をし、前会長が平成二十九年に退任され、現在の代表取締役に至ります。

社長と社員とのコミュニケーションについて伺うと、日常的にも個別にあいさつや声掛けを行い、全体朝礼の実施、個別面談、評価面談を実施する他に四半期に一回現況の業績報告、勉強会、懇親会を行っており、七月の上半期の懇親会ではBBQを行うとのことです。お手元のスケジュール帳を見せていただくと、表紙に社員の名簿があります。名簿には、三十四名の入社年、誕生日が記載されており、会社の年間スケジュールには、社員の誕生日が記入されています。朝礼時に、誕生日の社員を祝い、ケーキを買って部署ごとでお祝いしているそうです。

同友会には入社と同時期に入会されました。お父様である創業者は、様々な勉強会に積極的に参加し、同友会でも中枢で活躍されておりました。その背中を追い、當野さんもうりずんでも活躍されているのは、周知のとおりです。

プライベートでは、昨年ご結婚され、今年の五月十三日に長女が誕生しました。出産間もないこともあり、奥様と娘さんは、奥様のご実家で過ごされているとのことですが、もうすぐ自宅に戻られ、親子三人の生活が始まると嬉しそうに話されています。同時に子供の顔を見ると、代表取締役に就任時と同じ大きな責任を感じたとのことです。父親になった責任感が、会社の経営にも通じる。社員も自分の子供も幸せを感じる環境が大切。社員は技術的にも人間的にも成長し、心身の幸せを実感してほしい。社員の成長が会社の発展へ繋がり、物理的な福利厚生や給与も充実していくと信じている。会社を通じて社員や社員の家族、お客様や協力会社、地域が物心両面の幸せへと繋がっていけるように先代から受け継いだ経営理念の『会社の発展　社員の幸せ』を常に指針としていくと話されました。

インタビューを行った会議室には、経営理念をはじめ経営方針や今期の目標等様々な掲示物があります。その中でも、北海道の写真に『今期の目標を達成して北海道に社員旅行に行こう』というポスターが印象的でした。雪を見たことのない社員がいるので、ぜひ一緒に見に行きたいと伺いました。

今後も激変していく時代環境で、同友会という貴重な学び場を活かして学んだことを日々、実践して、社員と共に会社を良くしていきたいと話されました。当野社長に皆さんエールをよろしくお願いいたします。

《会社概要》

沖縄設計サービス㈱
代表取締役　當野（とおの） 正樹（まさき） 氏
〈浦西支部〉
所在地／浦添市字宮城5-7-8
TEL／098-878-3241
事業内容／①印刷・製本（大型ポスター・小型・ラミネート加工）、②デジタル編集（ドローン撮影、2D 3D CAD編集、電子納品代行作成、ファイリング）③各種レンタル（オフィス家具、PC、コピー機等OA機器）、④各種販売（オフィス家具、コピー機、PC等OA機器、事務用品）
URL／http://www.ossweb.co.jp

茶論

蟻の道雲の峰よりつづきけん／一茶▼梅雨最中、うれしいニュースだ。「中小企業の日」が決定した。中小企業の存在意義や魅力等の正しい理解を広めるための特別な日の制定だ。中小企業基本法の公布・施行日である七月二十日を『中小企業の日』、七月の一か月間を『中小企業魅力発信月間』とすることになった▼制定のきっかけは、実は沖縄だ。二〇一五年七月、国会議員を交えた沖縄県中小企業憲章シンポジウムで初めて提案された。その後、毎年国に政策要望を出している中小企業家同友会全国協議会の二〇一八年度「国の政策に対する中小企業家の重点要望」に盛り込まれたのだ▼中小企業憲章が閣議決定されたのは二〇一〇年。その理念を広く国民にも知らせていこうと、沖縄同友会でも中小企業憲章シンポジウムを毎年開催し、県や市町村の中小企業振興条例の制定運動にも積極的にかかわってきた。よい経営環境づくりの長年の地道な取り組みが、実を結んだといってよい▼記念日は、実践してこそ意味がある。いよいよ私たち自身が自主・民主・連帯の同友会理念を体現した魅力ある企業へ進化、成長することが求められる時が来た▼一点の偽りもなく青田あり／誓子（作古）

役員研修講座第１講
経営者の資質と人が育つ環境が重要

六月一日、沖縄産業支援センターにて、役員研修講座第一講が三十五名の参加で開催されました。

中小企業家同友会全国協議会・会長の広浜泰久氏を講師に、「同友会の歴史と理念～同友会と企業経営は不離一体～」のテーマで講演をいただきました。

同友会創立当初から受け継がれている経営者としての矜持、自主をベースとした民主、自助努力をベースにした運動の三つを高めていく事が今後は求められます。

『人間性（人間尊重）・社会性（社会的に意義のある会社づくり）・科学性（効率的に仕事を進める）』それぞれがバランスよくレベルアップしていくように、経営者自身が必要な知識や経験のレベル上げを常に意識しておくことが重要です。

会社がうまくいかないときに誰かのせいにするのではなく、自分自身の問題として捉えることや、相手の素晴らしさを発見することが重要。人のために考え・行動し、周りに対する関心を持つことが会社の発展に繋がります。また、謙虚に学ぶ姿勢を常に持つことも重要です。

よい会社にするためには、経営者の資質と人が育つ環境が重要であり、一人一人がＰＤＣＡを回すことができる、自分たちで強靭な組織を作っていく企業にすることが大切です。

最後に、同友会はいろいろな形で行動、実践に結びつける機会があるため特別な存在であり、今の環境に甘えることなく、学びや気付きを体現して世の中にもっと広め、展開していく使命をもっていかないといけないと熱く語りました。

講演後はグループ討論も行い、有意義な時間となりました。（事務局）

広浜泰久 氏

真剣に聞く参加者

南部支部政策委員会 与那原町議会との合同勉強会
まちの賑わいに直結するＬＲＴ導入をめざす

六月十三日、与那原町商工会議所にて南部支部政策委員会と与那原町議会総務財政常任委員会のＭＩＣＥ、ＬＲＴに関する合同勉強会が開催され、与那原町議十一名を含む十九名が参加しました。

初めに講話を行った、ＩＴ通信㈱・社長の高橋庸正氏は、南風原町四十周年記念で台湾視察に参加した経験から「鉄道やＬＲＴが併設していないＭＩＣＥ施設は世界にはほとんどない」とし、「沖縄県は那覇、与那原間のフィーダー交通について、ＬＲＴでは採算は取れないとしているが、ＭＩＣＥ施設で五千人以上のイベントが頻繁に行われるようになるとバスだけでは全く対応できない現状。最優先に考えるべきはＬＲＴやＢＲＴである」と強調します。

樋口氏は、「ＬＲＴはまちの賑わいに直結する」とし、具体的には、「高齢者の社会参画の促進、親の送迎負担の軽減、家計、観光資源そのものになる、バスよりも輸送量が増えるため、運転手不足対策につながる」など、多くのメリットがあり、それを沖縄の力でつくることが重要と説明しました。

与那原町議からは「夢のある話」「与原町は軽便鉄道復活の話も以前からあった」「議会も積極的に協力して、那覇空港から与那原町ＭＩＣＥ間のＬＲＴ導入をぜひ実現させ、東海岸の振興につなげたい」などの感想が聞かれました。（事務局）

高橋庸正 氏

ＬＲＴについて学ぶ

中部支部条例学習会
具体的な提案と方向性で沖縄市の活性化を目指す

六月十一日、沖縄市男女共同参画センターにおいて、中部支部条例学習会が開催されました。

報告者は、「沖縄市の中心市街地活性化の現状と課題」のテーマで沖縄市経済文化部商工振興課・主事の島袋朝成氏、「沖縄市における観光と課題」のテーマでオキナワグランメールリゾート・総支配人の川中由仁氏が報告しました。

沖縄市からは、胡屋地区、一番街のシャッター通りを含む中心市街地の現状と市として、様々な取り組みを行っているとの報告や、二年間中断していた中小企業振興推進会議を再開し、同友会にも参加の依頼がありました。

川中さんの報告では、東海岸と西海岸の観光開発の格差の是正やアメリカ文化や地域ごとの特色を生かした差別化＝地域戦略の必要性、沖縄の風情を残すなどの景観条例制定などの具体的な提案と方向性が示されました。

参加が二十六名と、三年ぶりに参加した会員もいる熱気あふれる討論と懇親で幕を閉じました。

（㈱夢づくり沖縄・新井良直）

熱心に聞く参加者

宮古支部６月例会
長期ビジョンを描き、質を高める努力が必要

六月十九日、日本銀行那覇支店・支店長の桑原康二氏をお迎えしての宮古支部六月例会が、ＪＴＡドーム宮古島にて、地元金融機関から十四名の参加を含む、二十九名の参加で開催されました。

「沖縄県経済の現状と課題」のテーマで、世界経済と日本経済の現状を景気循環という視点で説明しながら、沖縄県の現況について統計資料を用いて詳しく講演をいただきました。特に、講演後半の沖縄県の所得水準が低い理由とその解決策の提案は、支部会員だけでなく参加いただいた金融機関の皆様にも、とても参考になる内容でした。

宮古島が今後、日本のみならず世界に通用するようなリゾート地になるためには、五年後、十年後の長期ビジョンをしっかりと描き、サービスの質を高める努力が必要であるとアドバイスをいただきました。

グループ討論の時間はあまり確保できませんでしたが、今後の会員企業の経営のヒントになる、とても有意義な例会となりました。（先嶋産業㈱・友利博明）

桑原康二 氏

県経済の現状と課題について学ぶ

第22回女性経営者
全国交流会 in 広島

六月十三日～十四日、広島県にて第二十二回女性経営者全国交流会が開催され、沖縄より十一名が参加しました。

「認めあい、高めあい、生かしあう関係づくりの実践を！」をテーマに七つの分科会で学びあいました。

翌日の記念講演は、ＮＰＯ法人工房おのみち帆布の四名の講師による「同友会理念を礎に、人・企業・地域をつなぎ、未来へつなぐ～地域と共に歩んだ『工房おのみち帆布』二十年の物語」のテーマで報告され、学びの深い二日間となりました。

以下、参加者アンケートより掲載。

・活発な意見交換ができ、とても良い学びになりました。

・女性経営者から鋭いコメントやご指導もあり、とてもありがたかったです。

・会社を発展させて、雇用を増やし、地域のつながりを大事にすること（人が集まらなければ、地域活性化はない）が大切だと学び、再確認できました。

・同友会と企業経営は不離一体を実践され、いくつかの困難を乗り越えられた実践に心を打たれました。

・今の時代の情報共有がいかに大切だということがわかりました。

・とても学びが多く、経営者自身が日々行動しないといけないと感じました。

・経営者としての覚悟、具体的な実践が学べました。

・女性ならではの視点、周囲を巻き込む力を学びました。

全体会の様子

那覇支部経営基礎講座第1講

採用戦略を立て、良い人材を採用しよう

根橋理香 氏

六月三日、八汐荘にて那覇支部経営基礎講座第一講が十五名の参加で開催されました。

㈱カリタス・社長の根橋理香氏を講師に、「採用したい人、来ていますか？～ミスマッチが起きない採用戦略～」のテーマで講義をしていただきました。

就職先の企業を選ぶ重視条件として、1位「勤務時間、休暇」、2位「給与水準」、3位「勤務地」、既卒・中途では、1位「他にやりたい仕事がある」、2位「会社の将来性が不安」3位「給与に不満」となっています。県内企業の景況調査では、約八割が人手不足で求人難に直面しており、求人募集や合説をしても人が来ないのが現状です。

学校へ求人票をただ送るだけでなくアプローチをかけ、さらに自社のリクルートサイトや、求人用パンフレットを先生や親に伝わりやすい内容作りをすることがポイントとなります。企業訪問、インターンシップは特に効果的で会社の雰囲気を見てもらうことが大切です。

根橋氏の話を熱心に聞く参加者

合同企業説明会では、今の学生は文字を読まない傾向にあるので、写真で見せたり、福利厚生をグラフィック化して読ませたりと、試行錯誤して説明し、会社のメリットをいかに伝えるかがポイントとなります。また、自社のリクルートサイトも重要で内容が詳しければ詳しいほど、この会社に入りたいと思う人が増えます。

内定後のフォローアップ体制、内定辞退しないような対策をとって、卒業までの間に五～六回会って関係性を作っておくことや、入社後のキャリアステップの見せ方も必要です。

中途採用のアプローチとしては、施設の半径にポスティングや口コミなどで募集し、自分の会社にどんな人が必要なのか。ターゲットに合わせた採用戦略を立て、欲しい人材のライフスタイルを知ることが必要です。

最後に、人材を採用するうえでの三つの要素として、「自社のほしい人材像を明確にする」「欲しい人材に効く募集の仕方を考える」「入社後のビジョンも伝わるように」することをまとめとして幕を閉じました。（事務局）

新人フォローアップ研修会

ビジネスマナーの基礎を学ぶ

六月二十日、第二回新人フォローアップ研修会が沖縄産業支援センターにて、百十二名の参加で開催されました。

今回は、オフィス・キャリエール・代表の小那覇りな氏を講師に「ビジネスマナー～あなたの困ったにお答えします～」のテーマで行いました。

今回の研修会は、ワークを織り交ぜながらビジネスマナーとストレスマネジメントの内容で講演しました。ビジネスマナーでは電話応対や言葉使いなどお話しいただき、マナーとは礼儀で相手に敬意を示すこと、つまり相手を大切にし、不快な思いをさせないことが大切ですが、自身を大切にすることも必要だと言います。

ビジネスマナーについて学ぶ

ストレスマネジメントの中で大事なことは考え方です。考え方の歪み（スキーマ）は十二項目あり、自分がストレスとなる出来事（ストレッサー）が起きた時どのような考え方をするのか知ることが大切です。知ることで意識を変え、上手く向き合うことができると話します。

実践練習する受講生

新人フォローアップ研修会はゲストでの参加（参加費：一〇〇〇円／人※一回のみ）も可能ですので、ぜひ社員さんと一緒に見学しませんか！（事務局）

第18期社長・社員共育塾

本音の討論はノウハウではなく本質を学ぶ

六月十八日、第十八期社長・社員共育塾第一講が沖縄産業支援センターにて、九十六名の参加で開催されました。

今回は、㈱木立・社長の三木一成氏を講師に「共育塾でどのように学ぶか～グループ討論の意義と魅力について～」のテーマで行いました。

第一講は新たな取組みとしてオリエンテーションを行い、グループ討論で何を学ぶのかを中心に気づきと学びの違いや、本音の討論はノウハウではなく本質を学ぶなど、討論での役割についてお話しいただきました。

活発なグループ討論

グループ討論は二回に分けて行い、一回目は自己紹介と感想、二回目は「共育塾に参加するきっかけは何ですか？また、一年後どうありたいですか？」をテーマに行いました。

討論終了後にはグループ長のフィードバックも行いました。発表では、全十七グループから討論と共育塾への意気込みを発表しました。（事務局）

おきなわアジェンダ21県民会議感謝状勤呈式

ゆいま～る環境委員会（エコま～る）が受賞

六月十一日、おきなわアジェンダ21県民会議感謝状勤呈式が沖縄県庁にて行われました。

長年に渡る持続可能な循環型社会の構築をめざす取り組みが、県の3R推進及びエコアクション21などの普及に貢献した団体に感謝状が贈呈されました。

表彰は三団体、うち貴同友会では代表してゆいま～る環境委員会（エコま～る）の座間味唯康氏に感謝状が贈呈されました。

表彰された座間味氏（左から4番目）

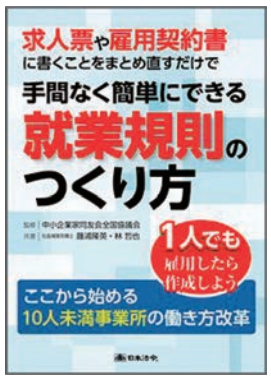
ゆいま～る環境委員会（エコま～る）は、今後も県の3R推進、エコアクション21などの普及に貢献していきます。

社労士・コンサルタント
青山喜佐子の
知って得する
シリーズ148

どうする働き方改革！「就業規則のつくり方」活用を

「働き方改革」始めていますか。

「何を改革したらよいかわからない」「今さら聞けない」で困っていませんか。働き方改革は、「仕事の進め方の業務改善」「働く職場環境の改善」「社内の風土改革」です。この三つを一気に改革するのは難しいとしても、とりあえず企業がすぐに準備すべき項目は、①時間外労働の上限規制（罰則付き）、②労働時間の客観的状況の把握、③有休取得の五日義務化から始めましょう。



①・②で必要なことは、労働時間を把握するためのしくみ（出勤簿やタイムカードなど）、また、時間外労働に必要な時間外勤務協定届の労基署への届出。③で必要な有給休暇の管理簿の作成など。

これもまだ理解できないという方のために、今回、中同協が監修した「手間なく簡単にできる就業規則のつくり方」は強い味方になります。

就業規則は、労基法に基づいて作成されますから、働くルールが全て記載されています。このテキストでは、就業規則を見直したい企業に、「作成の3ステップ」が示しています。①働く時に決めるべき内容を知る、②社員とともに現状チェック、③必要要件一覧表でチェックして整理。

冊子（五二四円）を読めば、あなたも働き方改革の達人です。

〈プロフィール〉
社会保険労務士
日本産業カウンセラー
大学非常勤講師
市町村行政改革推進委員など
社会保険労務士法人 オフィスあるふぁ
TEL/098-870-6686

青山喜佐子（あおやまきさこ）
（社会保険労務士法人 オフィスあるふぁ所長）

第25期同友会大学
国立劇場で入学式 第一講は「組踊」でスタート！

六月八日、国立劇場おきなわにて、第二十五期同友会大学入学式・第一講を百十四名の参加で開催しました。

式は二十四期卒業生を代表して石原地江氏から受講生へ激励の言葉があり、続いて五人の講師が各講義の概要と受講生への期待を語りました。

入学式の後は組踊伝承者・沖縄県立芸術大学講師・神谷武史氏が組踊についてわかりやすい解説を交えて「第一講」を行いました。

入学式の一面

神谷武史 氏

講義では、かぎやで風、浜千鳥、獅子舞等の沖縄の代表的な演目を披露しました。演舞の合間には自身が組踊に出会った経験から知った、世界に通用する偉大な沖縄の文化継承に務める想いを語りました。また、普段見る事の出来ない組踊の化粧実演もありました。

受講生からは「解説があってわかりやすかった。沖縄の文化の素晴らしさを実感した」と笑顔を見せました。

懇親会では少し緊張した面持ちで名刺交換を行いながらも、各自の挨拶では今後に意欲を示していました。（㈱共栄環境・下田美智代）

沖縄大学出前講座
働くこと、将来のことについて考える

同友会と沖縄大学は、包括連携協定を結んでいます。今回、同友会のメンバーと沖縄大学の島袋隆志先生を中心に沖縄大学と同友会で何か新しい取り組みをしていこうとプロジェクトが始動しました。

手始めに『沖縄大学出前講座』に同友会メンバーが参加することになりました。六月十七日、沖縄大学法経学部一・二年次クラスの『キャリアデザイン入門一・二』の講義に、同友会から十四名の経営者・経営幹部が参加し、七～八名の学生グループとトークセッションが行なわれました。トークテーマは『いい会社ってどんな会社？』や、『働くなら中小企業or大企業？』など、様々なテーマで率直に語り合いました。

ほぼ一年生でしたので働くことへの具体的なイメージができていないようでしたが、講義後のアンケートを見ると同友会の経営者と話したことで刺激を受け、仕事に興味を持った学生も多くいました。

今回の経験を元に、また新しい取り組みに活かしていきたいと感じた出前講座でした。（㈱カリタス・根橋理香）

活発なトークセッション

広報委員会学習会
首里城は見どころいっぱい

沖縄県の誇る「世界遺産の首里城」。広報委員会学習会は、まちま～いガイドの案内で首里城を見学しました。参加者は大人十二名、子供三名です。

守礼門はじめ「門」の名称が十三か所。正殿をはじめ「殿」が七か所。琉球石灰岩を加工したアーチ門や石積み、庭園など、人口の多くない時代にどのような技術で築いたのか、総面積は東京ドーム一個分強の面積。見学しながらメンバーの感嘆と感心の声。

王族の女性の住まい御内原（おうちばら）は、今年開園。京の内から壮大な景色が広がり周囲の国々との交易など、数々のドラマを想像させる佇まいです。参加者の教養が一気に高まった日でした。

「首里城を知らずして沖縄を語るなかれ」必見です。（社会保険労務士法人オフィスあるふぁ青山喜佐子）

全員でハイチーズ！

読者の声

「中小企業家しんぶん」に白い紙がはさまれているのを見つけると、ニヤリとするのは僕だけでしょうか？

同友会歴が長くなればなるほど「ローカル度」が高くなっていく「ニライみらい」、フォーカスされている人はもちろん、投稿者を見て「知ってる！」と思えるのはこの新聞ならでは。他支部の活動を見て、こんな活動しているんだなと思うことや、自分達の活動も振り返ったりして、同友会活動をしていく上で欠かせない情報源となっています。

ちなみに、ドキッとするのはやはり原稿を依頼された時。皆さま大きな心で読んで下されば と願っています。（㈲ＰＬＡＮｔＰＬＡＮ・宮良高彰）

中小企業の日制定される！
沖縄同友会の提案が現実

7月20日は「中小企業の日」、7月は「中小企業魅力発信月間」に決定

「中小企業の日」制定記念・「中小企業魅力発信月間」イベント **2019年度「中小企業シンポジウム」を開催**

～国会議員等と中小企業の ワクワクする未来について語り合おう！～

2010年６月に「中小企業憲章」が閣議決定されて以降、沖縄同友会では６回に渡りシンポジウムを開催してきました。ここ数年は「中小企業の日」の制定に焦点を当て、県選出・出身・関係の国会議員等と共に、中小企業がワクワクする未来を築くために何をすべきかを考えてきました。この取り組みは全国運動となり、ついに、中小企業庁は、７月20日を「中小企業の日」、７月の１ヵ月間を「中小企業魅力発信月間」として定めることを決めました。今回は、「中小企業の日」制定記念及び「中小企業魅力発信月間」イベントの位置づけで2019年度「中小企業シンポジウム」を開催いたします。

＜2019年度中小企業シンポジウム＞

テーマ　みんなで語ろう！中小企業の未来を ～「中小企業の日」制定から飛躍へ～
日　時　８月26日（月）15：00～20：00
会　場　パシフィックホテル沖縄２Ｆ
規　模　100名程度（経営者、国会議員、行政担当者、金融機関、支援機関等）
内　容
第Ⅰ部「中小企業シンポジウム」（15：00～17：50）
一、基調講演（40分）
テーマ　「中小企業の日」制定から飛躍へ ～中小企業憲章の理念に基づく 中小企業政策の具体化～
講　師　中小企業庁より
一、グループ討論（みんなで語ろう！中小企業の未来を）（55分）
テーマ　「沖縄県の県民所得を向上させるための課題は何か？また、それぞれの立場で今、何をすべきか？」
第Ⅱ部「懇親会」（18：00～20：00）

2017年シンポジウムの様子

2017年シンポジウム膝詰めで語り合い熱気溢れる懇親会

「写真コンテスト」大募集！

第１弾！「写真コンテスト」の募集を行います。
今回のお題は、
「バカンス」（締切／８月末）
９月号に「ニライみらい」で発表します。ドシドシご応募ください。
受賞された方には豪華賞品を贈呈します!!

提出先
沖縄県中小企業家同友会
メール
doyu@okinawa.doyu.jp

文進印刷株式会社
本　社／〒901-0416　沖縄県島尻郡八重瀬町字宜次706－4
TEL（098）996-3356（代）FAX（098）996-3357
那覇営業所／〒902-0074　沖縄県那覇市字仲井真201番地18　TEL（098）855-2323（代）FAX（098）996-3357
浦添営業所／〒901-2111　沖縄県浦添市経塚８１１－１４　TEL（098）879-9303（代）FAX（098）996-3357
宜野湾営業所／〒901-2214　沖縄県宜野湾市我如古3-11-5 1F　TEL（098）898-1055（代）FAX（098）996-3357
沖縄営業所／〒904-2165　沖縄県沖縄市宮里２丁目１番３号　TEL（098）937-8607（代）FAX（098）996-3357
糸満営業所／〒901-0303　沖縄県糸満市字兼城473-10 グレイスコート102　TEL（098）994-5777（代）FAX（098）996-3357
うるま営業所／〒904-2215　沖縄県うるま市具志川みどり町3-19-5　TEL（098）973-5676（代）FAX（098）996-3357
平成19年２月６日、個人情報保護のための仕組みである、JISQ15001：2006（プライバシーマーク 認定番号24000306（04））を取得いたしました。
＜南部支部会員＞

設備投資に係る 税の優遇制度
＜3つのポイント＞
☑県内事業者・県外事業者を問わず活用できます！
☑５年以内に購入した資産が対象となる場合があります！（＊）
（＊）但し、産業高度化・事業革新促進地域制度は除く。
☑赤字でも優遇制度を活用できる場合があります！
沖縄には、設備投資に係る税の優遇制度として、特定の地域や特区が指定されています。
①観光地形成促進地域　②産業高度化・事業革新促進地域　③情報通信産業振興地域・特別地区
④国際物流拠点産業集積地域　⑤経済金融活性化特別地区　⑥離島の旅館業に係る特例措置
沖縄特区・地域税制活用 ワンストップ相談窓口
TEL：０９８-８９４-６３７７
E-Mail ： okitoku@okinawa-ric.or.jp
URL　https://www.zei-tokku.okinawa/
（公財）沖縄県産業振興公社　経営支援部　事業支援課
沖縄特区・地域税制活用促進事業
営業時間　8：30～17：15（土日、祝日を除く）